



## 上部内視鏡検査に補助診断 AI (CAD EYE) を導入しました

2023年4月より上部内視鏡検査の補助診断 AI を導入しました。補助診断 AI は検査施行医師の癌・腫瘍の発見や見落とし防止の手助けをします。また、補助診断 AI は検査中にリアルタイムで病変の検出を行うため、補助診断 AI が導入された影響で検査時間が長くなってしまいうことはありませんのでご安心ください。

今、何かと話題の AI ではありますが、医療業界にも AI を導入しようという動きが大きくなっています。当クリニックでは、より質の高い検査を皆様にご提供できるよう今後も最先端技術を積極的に取り入れていきます。

### 医療連携病院紹介

### 東京医科歯科大学病院 消化管外科

東京医科歯科大学病院の消化管外科は食道外科、胃外科、大腸・肛門外科の3診療科で構成されています。

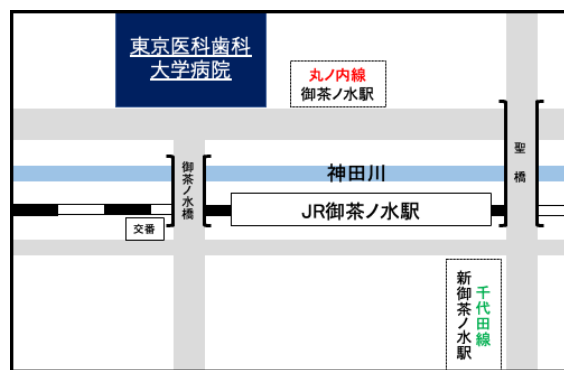
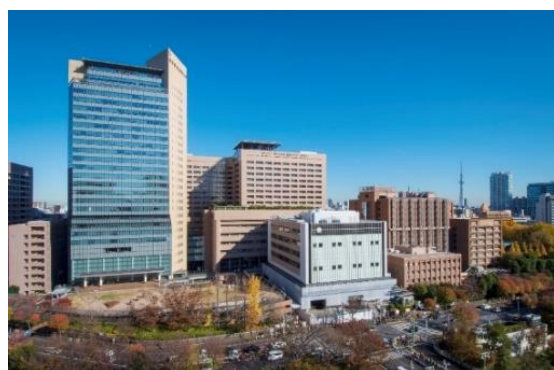
食道外科では食道癌を主とした専門治療を行っています。食道癌は早期発見が何よりも大切であり、当院では各科と連携し、口腔・咽喉頭・食道・胃のスクリーニングを目的とする内視鏡検査に力を入れています。早期発見できた癌には内視鏡治療を、また進行癌には手術、放射線、抗がん剤、免疫チェックポイント阻害剤<sup>※1</sup>を用い、複数の治療法を組み合わせる治療を行っています。経験豊富な食道外科専門医による鏡視下手術、放射線治療後の救済手術、頸部食道癌に対する積極的に声を温存する手術を行っています。再発後の治療、緩和ケアまでどのような食道癌にも対応します。

胃外科は胃疾患に対する手術を中心にしている専門科で、胃癌や胃粘膜下腫瘍といった胃の腫瘍が主な対象です。胃癌に対しては内視鏡治療適応の早期胃癌から切除不能進行胃癌まで進行度にあわせた適切な治療を行っています。近年はロボット手術に力を入れており、胃癌に対する手術の多くはロボットで行っています。また、最近増加傾向の食道胃接合部癌は、領域の重なる食道外科と連携し治療にあたっています。

大腸・肛門外科では大腸癌を筆頭に、炎症性腸疾患や大腸ポリープなどの大腸・肛門疾患の外科治療を行っています。ほぼ全ての大腸癌に対してロボット手術を行っており、日本屈指の実績を誇っています。また、進行した大腸癌に対しても手術、抗がん剤治療、放射線治療を組み合わせた先進的な治療を行っています。

東京医科歯科大学病院は2023年秋から手術室などを拡充した機能強化棟がオープンし、より多くの手術件数に対応できるようになります。各診療科で連携し患者様にベストな医療を提供できるよう、スタッフ一丸となって診療にあたりますので、お気軽に御相談ください。

※1 がん細胞が免疫のはたらきにかけたブレーキを解除し、免疫の働きを活発にしてがん細胞を攻撃できるようにする薬のこと。



患者様が早期に治療開始できるよう、クリニックを受診された同日に予約無しで当院の受診が可能です。  
お問い合わせ先：03-5803-4655

## コロナ禍における当クリニックの取り組み

当クリニックは、「健診から一般診療まで幅広い医療活動を通じ『生涯健康のガイドライン作り』を目指しています。「生き生きと」生きる、豊かな高齢化社会を目指して、豊かな老後のための健康支援を理念に掲げ1983年に設立しました。おかげさまで40周年の節目の年となりました。「すべては受診者・患者様のために」を念頭に、職員一同一丸となって皆様の健康と快適な健診空間の提供を目指しております。

2020年世界的なCOVID-19感染症の流行、いわゆるコロナ禍を契機に、様々な生活様式の変化が生じてきました。これらはNew Normalやwith コロナ時代などと表現され、当クリニックにおいても新しい生活様式に合わせた価値観の創造が必要とされました。コロナ禍により始まった取り組みは、一時的なものから恒久的なものへと変化し、当クリニックでは2020年より現在まで大小合わせて150余りの業務内容の見直しを行い、現在もアップデートを繰り返しております。今回、それらの見直しの中で、特に効果的であった取り組みを5例紹介します。

### 1. ミラーリングモニターを用いた人間ドックの結果説明

社会的距離をとるために、受診者様の目の前に検査結果を表示するミラーリングモニターを設置し、従来と比べ受診者様に見やすい位置で検査結果を提示できるようになりました。

### 2. 受付・ナースカウンターに指向性スピーカーの配置

マスクの着用やアクリル板の設置によって、受診者様とスタッフのコミュニケーションが困難になりました。しかし、指向性スピーカーを導入することで、受診者様のプライバシーを保護しつつ円滑なコミュニケーションをとることが可能になりました。

### 3. 人間ドックの受付時間の細分化

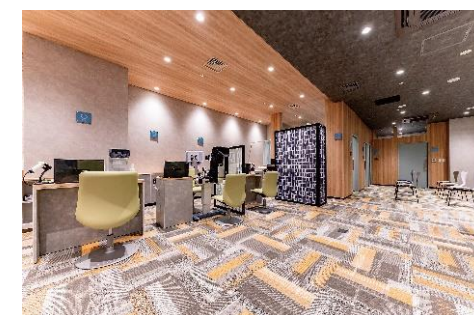
受付時の混雑による過密回避のため、予約時間の細分化を行いました。細分化により混雑が緩和され、受付業務がスムーズになりました。また、従来よりも短い待ち時間で人間ドックをご受診いただける体制ができました。

### 4. QRコード自動販売機による水分摂取の案内

コロナ禍による衛生感覚の変化に対応するため、QRコードを搭載した自動販売機を共同開発し、人間ドック後に衛生的に水分摂取をご案内できるようになりました。

### 5. 定期健康診断専用フロアの開設

ソニックシティビル2階に定期健康診断専用フロアを増設しました。人間ドックとは別の専用施設での健診により、待ち時間が大幅に短縮されました。(最短滞在時間約20分)



人間ドックや健診は、コロナ禍にあっても変わらずに受診者様にとって自身の健康状態を知るための大切な機会であると考えております。定着した新しい生活様式に合わせた価値を創造することが『生涯健康のガイドライン作り』への道に繋がると考えます。

業務統括本部 部長代理 亀谷 招弘



健康相談室だよりは当クリニックホームページにも掲載しております。バックナンバーもご覧いただけます。

\*\* ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なくご連絡ください\*\*

ホームページ URL : <https://www.omiyacityclinic.com/>

ご意見・ご感想 : [sodan@omiyacityclinic.com](mailto:sodan@omiyacityclinic.com)

